20181109 蔵前ゼミ（通算 第 73 回）

講演中の中島さん〔金融の世界におけるものづくり〕

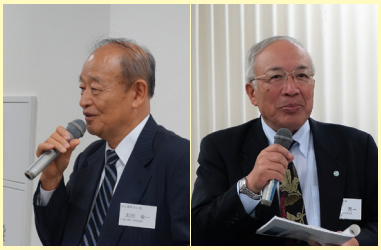
会場風景（すずかけ台，J234 講義室）

会場風景

パネル Discussion「社会や企業に求められるエンジニア人材」

交流会の様子（J2 棟 20F, 2001 研究交流室）

交流会の様子



開会挨拶 太田さん　閉会挨拶 橋爪さん

◆太田さん：今回は 我々の想像を超えた世界があることを知りました。ディスカッションで問題になった人材については，東工大生は企業から見ると採用したい人材ですが，将来，幹部として活躍してもらうためには，リベラルアーツ研究教育院が力を入れている“コミュニケーション力・自己表現力”の強化の他に，マネージメント力も必要ですので，蔵前ゼミではそこに力を入れています。最近の世界情勢としては，DX（digital transformation: IT の浸透による社会の質的変化）が進行中で，これに対応できない企業・サービスは退場を迫られる時代になっています。学生の皆さんはこれから先，40 年間もの社会人生活を送るわけですから，いくつもの変革に見舞われ，その度に大きなトランスフォーメーションを強いられるでしょう。その時にちゃんと芽が出る素地を学生時代に醸成しておいて下さい。

◆ 橋爪さん：「今日が本年度の最後のゼミだよ」と カミさんに言ったところ，「それなら派手なネクタイをしていきなさい」ということで，思い切ってこのネクタイにしました。来年も今年とほぼ同じように開催できることになっていますので，この交流会には来年も是非ご参加ください。今日は中島先生に“異次元の話”をしていただきました。特に，若い皆さんにはハッとするような事を大切にして欲しいと思います。感動する心を持ち続けるのが大事で，自分にとっては異次元と思えるような仕事に挑戦する意欲の源になります。このゼミの内容を分かり易くまとめた「印象記」を広瀬さん（資史料館 特命教授）が書いてくれています。講師の人となりにまで踏み込んでいますので読みごたえがあります。Web 上で公開されていますので是非 目を通してください。過去の分に関しては 3,000 部印刷し，冊子体としても配布しています（私の話は 15 頁，司会の安藤さんの話は 50 頁に載っています）。最後に一言：仕事には，まず全身全霊で打ち込むこと，良し悪し・適否はそのあとで。